

専大スポーツ

【専大スポーツ】<https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>

No. 420



シングルス、ダブルスともに活躍しチームを支えた木村(左)と出澤=写真提供 R a i l y s

全日本大学総合卓球選手権(団体)

大学日本一を決める全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)が7月1日から4日まで、京都市の島津アリーナ京都で行われた。専大は男女ともに出場し、女子が2016年以来となる3位入賞を果たした。

女子は、エースの木村(例外的な強さで突破し、決香純(経営4・四天王寺 勝トーナメントに進出す高)や関東学生新人戦を制した出澤杏佳(文1・大成女子高)を中心に躍進した。予選リーグを圧

一勝も与えなかった。早大との準決勝では出澤が2戦目に登場し、ストリート勝ち。しかし後が続き1-3と追い込まれた4戦目では、木村が最終ゲームまでもつれる接戦を落とし、決勝進出はならなかった。

男子は決勝トーナメント2回戦で敗れ、ベスト16だった。(倉鹿野雅賢・経済3)

女子シングルス 出澤 大学初戦を優勝で飾る

関東学生卓球新人選手権大会(6月12-13日、神奈川県・横浜武道館ほか)

女子シングルスで出澤杏佳が圧倒的な強さで優勝を果たした。

出澤は、2019年の全日本選手権ジュニアの部で優勝。高校時代からトリックでもプレーする注目の新人だ。

入学後初の大会に、出澤は「絶対優勝する」という強い気持ちで挑んだ」と話す。トーナメントでは順当に勝利を重ね、決勝も序盤からペースを握

男子団体戦に大倉秀太 勝利

男子団体戦に大倉秀太(経済4・都立山崎高)が優勝。悪天候のなか行われた予選ラウンドは16校中9位と苦戦したが、決勝ラウンド初戦は立教大に勝利。準々決勝で今大会を制した近大に敗れたもののベスト8と

男子団体戦に大倉秀太(経済4・都立山崎高)が優勝。悪天候のなか行われた予選ラウンドは16校中9位と苦戦したが、決勝ラウンド初戦は立教大に勝利。準々決勝で今大会を制した近大に敗れたもののベスト8と



大学初戦での優勝に笑顔の出澤

東京オリ・パラ(出場選手・スタッフ)

東京オリンピック(7月23日開幕)、東京パラリンピック(8月24日開幕)に、2人の卒業生が選手として出場する。また、3人がスタッフとして代表チームをサポートする(7月13日判明分)。

- ◆東京オリンピック
 - 【フェンシング】男子サーブル(個人・団体) 島村 智博さん(平18経営、警視庁)
 - 【水泳・水球女子】※監督 本宮 万記弘さん(本学水泳部コーチ)
 - 【バレーボール・女子】※チームリーダー 渡辺 啓太さん(平18ネット情報、國學院大学)
- ◆東京パラリンピック
 - 【アーチェリー】男子W1 大山 晃司さん(平26法、警視庁)
 - 【トライアスロン】※ヘッドコーチ 富川 理充 商学部教授

健闘 8位

全国女子大学ゴルフ対抗戦(6月24-25日、石川県・片山津ゴルフ倶楽部)

8年ぶりに「全国」の舞台に戻ってきたゴルフ部女子。初日は3位に3日、石川県・片山津ゴルフ倶楽部

2日ともイーブンパースが得意なよう、日々練習に励みたいと語った。なお、男子は13位に終わった。(男神愛・商3)

3年連続ベスト8

全日本学生アーチェリー男子王座決定戦(6月19-20日、静岡県・つま恋りゾー

男子団体戦に大倉秀太(経済4・都立山崎高)が優勝。悪天候のなか行われた予選ラウンドは16校中9位と苦戦したが、決勝ラウンド初戦は立教大に勝利。準々決勝で今大会を制した近大に敗れたもののベスト8と

フォーメーションを發揮できるようにアーチェリーを楽しむ、笑顔で終わろうと考えていた」と話す。チームは3年連続で準々決勝に進出。目標のベスト4入りはかなわなかったが、目標の「楽しくやる」を結果に結びつけた。(石井沙弥佳・文3)



左から桑原、貴井、大倉秀太、山内

フェンシング部の3人 地元の聖火リレーに参加

秋田県の聖火リレー(6月8、9日)にフェンシング部の齋藤華南(経済1・秋田商高)、成田実礼(経営1・聖霊女子短大)付高、嶋田愛音(文1・聖霊女子短大付高)が参加した。3人はオール秋田ジュニアフェンシングチームの一員として初日のアンカーを担当。嶋田は「地元で聖火リレーに参加できてよかった。選手としても刺激になった」と話した。(塩澤高)石田滉樹(経済1・

総合馬術 団体2位

関東学生馬術競技大会(6月23-27日、山梨県馬術競技場)

総合馬術団体で2位となり、全日本学生馬術大会の出場権を獲得した。団体には、山下翔(文1・近江兄弟社高)の5人が出場した。山下は「納得のいく結果ではなかった。今回の経験を次に生かしたい」と話した。(渡邊未来・文3)



松岡とデア・ポエット号

男子50m背泳ぎ 井下 7位 自己ベスト更新

ジャパンオープン2021(6月25-6日、千葉県国際総合水泳場)

新人戦、選手権、女子の3部門が行われ、専大勢は新人戦で3人が優勝した。優勝者は、グレコ60kg級の曾根敬次郎(経済2・上田西高)フリー61kg

新人戦、選手権、女子の3部門が行われ、専大勢は新人戦で3人が優勝した。優勝者は、グレコ60kg級の曾根敬次郎(経済2・上田西高)フリー61kg

井下は「初めてのジャパンオープンで決勝に進むことができ、自分でも驚いている。万全の状態大会に臨めたため、自信はあったが、自己ベストを更新できるとは思わなかった。日本選手権や全日本学生選手権でも決勝に進み、メダルを取りたい」と語った。(塩澤京夏・文3)

新人戦 3人が 優勝

東日本学生レスリング選手権大会(春季大会)(6月23-25日、世田谷区・駒沢体育館)

その他の上位入賞者は次の通り(選手権)グレコ77kg級・木村海騎(文4・高知東高)2位▽同60kg級・山下善(商4・三井高)3位▽フリー65kg級・伊藤由信(経済3・今治上高)2位▽同79kg級・川原大夢(文3・池田高)3位(女子)72kg級・小林奏音(ネット情報3・市立太田高)3位(寺田美結・文3)



井下は「初めてのジャパンオープンで決勝に進むことができ、自分でも驚いている。万全の状態大会に臨めたため、自信はあったが、自己ベストを更新できるとは思わなかった。日本選手権や全日本学生選手権でも決勝に進み、メダルを取りたい」と語った。(塩澤京夏・文3)